



伝統の花 繚乱と……

同窓会報

第20号
昭和61年 5月10日
社団法人
上田高等学校同窓会
印刷所
田辺印刷株式会社

更に一層の飛躍を期待!!

新校長に金子氏、松本氏は長野大教授に



金子新校長

社団法人 上田高等学校同窓会 昭和61年度 通常総会御案内

- ◎日時 6月8日(日) 午後1時より
- ◎会場 同窓会館
- ◎議事 (1)決算・予算承認の件
(2)役員改選の件
- ◎受章者(60年秋・61年春)祝賀式
- ◎記念講演 演題 「これまでの教育、これからの教育」
講師 名古屋大学教授 堀内守氏(49回)
- ◎祝賀・懇親宴会 (参加者は会費1,000円)

次代を見つめ良き校風の発展を

新校長 金子 萬次郎

この四月、ご縁があつて上田高校に赴任し、未だ僅かではありますが、本校の歴史と伝統の重みをひしひしと感じている次第であります。それは青春時代をこの学び舎で過ごし、若き血を燃やされた二万有余の同窓の方々から築かれた良き校風が、時は移りこそすれ後輩に受け継がれ、今日に至っているからでしょう。

学校長としての職責を全うすることは勿論のこと、教職員一同、校風の発展に一層努力する所存であります。ご援助



前校長 松本 文男

教師冥利に尽きた在任二ヶ年

り方、豊かな国際感覚の必要性等々、新しい教育課題が次々と現場に要求されて居ります。本校の良き伝統を継承し、新時代のリーダーシップをとって行ける生徒の育成に全力を傾注したいと思ひます。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

終わりに、同窓生各位の益々のご清栄をお祈り申し上げます。

私が入学許可をした生徒が卒業を迎えるのは昭和62年3月です。その頃によくやく時きし種が見事に芽を吹き出すものと固く信じて居ります。

そんな短い中ではありましたが、NHK「真田太平記」に誘われてか、学校を訪れる人も多く、60年秋に三学年主任の不慮の事故という不幸な不幸もありましたが、全教師がベストを尽くした二ヶ年で

県立の上田中学校に独立してから八十五年、第十六中学予備学校の発足から数えれば百十年という歴史の中で、僅か二ヶ年の責任者という期間には、夢のまた夢」とでもいえるような短い歳月でした。

人を育てる教育という働きの効果が本当に実を結ぶには人事あり、施設あり、方針の定着あり、流れ・勢いの高揚ありで、少なくとも数ヶ年から十ヶ年を必要とします。そのような中でこの二ヶ年は本人としても心残り多く、まして同窓会各位におかれては一

が、NHK「真田太平記」に誘われてか、学校を訪れる人も多く、60年秋に三学年主任の不慮の事故という不幸な不幸もありましたが、全教師がベストを尽くした二ヶ年で

口同音に「県下で最も高校らしい学校は上田高校」と唱える場所に、学校長として勤務してきた喜びこそ教師冥利に尽きるものと感謝している次第です。

青春の門

平均寿命が八十に近づいている。「人生五十年」が通り相場だったことを思えば、隔世の感がある。この世を長く生きることのできるのには結構なことだが、一方で新たな問題も抱えた▼高齢化社会がもたらす悲劇も多い。精神的危機にある中高年に、ボケ、うつ病、自殺などが目立っている。ストレスの増加や生きがいの喪失が原因だという▼熱年からの人生を心豊かに送るためには、自助努力が必要なようだ。老化があつても人間の成長は期待できるし、年をとつても若々しさを保つことは可能だからだ。十分活用さえすれば、脳細胞がいつまでも活発に働いてくれることも事実らしい▼科学や医学のおかげで人の一生は伸びたが、心身ともに健康でなければ意味はない。そしてそれは、わたしたち自身の問題だ。ことに精神健康は、人の生き方や人生観と深くかかわっているからである▼脳や体力の衰えを防ぎつつ、生涯教育や趣味を通して前向きに生きることが大切だ。上手な年のとり方という点では、高齢期を迎えてからでは間に合わないことが多い。(龍)

若年会員の参加で魅力ある総会に

理事長 金子 八郎



皆さんお元氣ですか。母校

はい、創立八十六年目を迎えるその長い歴史の中でも最も大きな変貌期にきています。第二次高校生急増期に当たって生徒数は一五〇〇名になん

んとし、職員も百名というマンモス校になりました。古城の門をくぐると其処には近代的な校舎が立ち並び、スマートな雰囲気を感じています。僅かに往時の面影を残すのは土手鴉の運動場のみです。

然し、古き良き伝統と校風の灯を消すことの無い様、校長を中心に職員生徒一丸となつて真摯な取り組みがなされており、東信の雄としての意

総会記念講演

講師に堀内守名大教授(49)

テーマ「これまでの教育、これからの教育」

昭和61年度定時総会の記念講演講師に、名古屋大学教育学部教授、堀内守氏(49期)が決定した。氏は東京大学教育学部卒、同大学院修了。教育学博士。専攻は教育哲学・思想史で、近代教育学の祖といわれるコメニウスの研究で知られている。著書に、「構想力の冒険」、「知の換起力」、「手の宇宙誌」など多数。SFも手がける。近著に「叱り効果」と、「おだて効果」(講談社刊)がある。



堀内守教授

二十曲の歌を伴奏なしで歌い、それぞれの時代と青年の意識の変化を語る、という全く型破りの講演「堀内守スモールショー」を演じ話題となった。

昨年7月、あいち国際青年年中央集会の基調講演で、約

上田中字時代は新聞班にあ

気が誇りは今尚高く健在であります。同窓会の総会は兎角年寄りの集まりと言われ勝ちですが年配者と一緒若い世代の参

学校近況

四月十七日を開校記念日に

三月、全日制四三九名、定時制十名の生徒が卒業し(84期)、四月、全日制四五〇名定時制二四名の生徒が入学し

つて、ガリ版刷りの「上中新聞」を発行し、自ら上中をモデルにした小説を連載した。この「上中新聞」は予算切れで3号で休刊、翌年は野球部に予算をとられ廃刊に追い込まれて口惜しい思いをしたそうである。また、英語班でも活躍し、昭和25年の県英語弁論大会で二位に入賞している。

今講演のテーマ「これまでの教育、これからの教育」では、こころ、三十年の社会と教育の変化をたどり、「これからどうやって行ったら良いか」を考えるものとなるようで、我が子の教育真盛りの若い父母の参加を期待しているという。さて、今回も講師は調子よく歌うか?

加が得られるような魅力ある総会の在り方について、今役員間で種々研究討議され、マンネリ化脱皮の努力がなされております。この件について会員諸氏のご意見を寄せていただければ幸甚です。皆さんの益々ご健勝を祈念致します。

開校記念日に

た。校長も金子萬次郎氏に交代し、61年度がスタートした。昨年度の学校施設面の整備状況を見ると、現施設の改修補修が目立つ。プール改修、自家用井水処理施設のポンプ改修工事などで、ちよとそ

ういう時期にさしかかって来ているようである。野球部の

練習で、打球の飛距離が伸びて従来のフェンスを軽々と越えてしまうので、フェンスも10mのものに整備し直した。同窓生では、44-5期生が同期生中沢志朗画伯の一二〇号の大作「碧」を、52期生が機器収納庫を寄贈している。また理数系への進学希望者の増加に伴い、それに対応すべく視聴覚機器の導入を申請し準備中である。

尚、明治三十三年に上田中

学として独立した時、開校式行われた四月十七日を開校記念日と定め、その日に近い土曜日に、同窓生の記念講演が行われているが、昨年は東信史学会会長の黒坂周平氏(30期)、今年には県商工部参事竹下悦男氏(52期)が行った。

受章者氏名

☆昭和60年秋叙勲

- 塩野入忠雄氏(27回) 勲五等瑞宝章
- 宮入武夫氏(29回) 勲三等旭日中授章
- 母袋忠右衛門氏(32回) 勲三等瑞宝章
- 杉浦旭氏(32回) 勲四等瑞宝章
- 依田嘉人氏(32回) 勲四等瑞宝章

☆昭和61年春叙勲

- 小宮山庄三氏(31回) 勲四等旭日小授章

☆昭和61年春の褒章

- 平野茂氏(39回) 藍授褒章

(株)カクタ染物店 下道駐車場組合

田口 玲 (36回)

上田中央6丁目1番25号
電話 (0268)22-0675



千曲バス株式会社

取締役社長 高山 薫 (36回)

- 本社 佐久市大字野洲20番地 ☎(0267)62-0081(代)
- 上田支社 上田市大字秋和 ☎(0268)22-2363



キャプテンを先頭に練習に励む野球班

先輩！ガンバってます！！

— 伝統が生きるクラブ活動紹介 —

現在、上田高校には約40のクラブがあり、毎日熱心な活動を続けている。特に運動クラブには、全校生徒の60%が加入しているそうである。クラブの種類もいろいろあり、ボランティア、マンガ・アニメ、マイコン、食品科学などという名に、時代の移り変わりが感じられる。

インターハイ出場を悲願として！

○剣道班○

現在、班員三十七名(二・三年生)内女子十五名。古い同窓生の皆さんにとつて昔日の感ありというところでしょう。悩みは道場の狭いこと。剣道班OBで組織された後援会の存在は力強く、合宿の時などにはOBの方も参加して、気合いを入れていただいています。そんなところに毎日です。

音楽のすばらしさに心うたれ！

○吹奏楽班○

オーストリアへの第二回目の長野県芸術文化使節団は、高校生による吹奏楽団となり県下より四十名が選ばれた。この中に上田高校からは三名が入り、去る三月十四日から二十三日まで、音楽の都ウィーンをはじめとする三つの都市で演奏会を開きました。

演奏会も成功をおさめ、最後の演奏会では、団員のあふれる涙に、白いハンカチで思わず涙をぬぐう婦人の姿が会場に見え、何ともいえぬうれしさがこみ上げて来たものです。今更ながら音楽のすばらしさに心をうたれました。史跡巡りやおペレッタ鑑賞なども楽しいものでした。当楽団も今、学習に励みながら、第11回定期演奏会に向けて、練習に熱がはいっているところですよ。

＜昭和60年度 主なクラブの戦績＞ (県大会以上)

- 剣道班
 - 県大会団体女子3位
 - 新人戦県大会団体男子優勝
 - ” ” 個人戦女子3位
- 男子バレーボール班
 - 新人戦県大会準優勝
- ハンドボール班
 - 県大会優勝
 - 新人戦県大会優勝
- 陸上競技班
 - 県大会総合優勝 5種目に優勝
 - 北信越大会 5種目に入賞
- 水泳班
 - 県大会 5種目に入賞
- 山岳班
 - 第14回登山競技大会2位
- ソフトボール班
 - 県大会ベスト4
- 野球班
 - 全国高校野球県予選ベスト8
- 軟式庭球班
 - 県大会 男子ダブルス3位
- 吹奏楽班
 - 県大会金賞(11回連続)
 - アンサンブルコンテスト県大会
 - サククス四重奏金賞
 - 他3種目 銀賞
- 囲碁班
 - 県大会 団体女子優勝
 - ” ” 男子準優勝
 - ” ” 個人女子優勝
 - ” ” 男子準優勝

自動車・産業土木建設機械完成組立部品
専門メーカー



株式会社 都筑製作所

代表取締役社長
都筑清彦(56回)

本社・工場 長野県埴科郡坂城町 電話 (0268) 82-2800(代表)
東部工場 長野県小県郡東部町 電話 (0268) 62-1161(代表)

内科・外科・整形外科
放射線科・精神科・神経科

医療法人
慈善会

安藤病院

上田市中央西一―一―二〇
番(〇二六八)二二―二五八〇番代

- 安藤 守正 (第三十四回)
- 安藤 義男 (第四十二回)
- 安藤 守明 (第四十四回)
- 安藤 義重 (第四十八回)
- 安藤 信義 (第五十回)

故安間清先生を偲ぶ



先生に初めてお会いしたのは、昭和十二年四月初めでした。上中一年生になって、A組担任として颯爽と教壇に立たれた怖そうな先生の訓辞を頂き、緊張を新たにしましたものです。しかし、外見の印象とはうらはらに、先生のご講義は淡々として、国語教科書の名文を味読、解説し、小異にとられて原作者の本意とはたしてあうのかと、疑問の多い最近のマルチオン式分解方式の解説とは、全く異なるものでした。

一年坊主のはやのみこみによる奇妙な質問には、「それや、曰くいいがたし。まあ饅頭の味つうもんだな」なんておっしゃって、にこりともされず、次に進まれた。テストでは、全問マルがついているのに、一点ひいて49/50となつていたので、一応アピールすると、「完全ということはないものだが」といわれたこともあった。中日戦争の激化して行く年代ではあったが、一年生の夏休みには、国語の補習教育をされ、小休止時には、先生は石段に腰をおろされ、旨そうに一服され、我々小鬼どもの休み時間の使い方に微笑をおくっておられた。先生の上中勤務はこれから間もなく終わり、飯田中学

「ご転勤となり、中日戦争の泥沼化、第二次世界大戦の開始と、時代は慌しく、先生との交信も途切れがちになつてしましました。そして再度お手紙を頂き、大手町のご自宅に立ち寄り拝見したのは、30年後、昭和四十年頃でした。先生は悠々自適のご身分になられ、私は医師としての生活に繁忙し、日本は中日戦、二次大戦に敗れ、灰土から立ち上つて経済大国への道を進むという、正に邯鄲の夢の思いを強くする30年でした。

その頃、突然私の所に先生の書かれた「虹の話」が届き、次いで「はや物語」が惠与され、数年前には「柳田国男の手紙」が届けられました。30年余り経てご著書を頂くに及んで初めて、「饅頭の味だね」と小鬼どもを笑わしていた頃

各地を歩かれ、民俗学の研究や、はやの研究に精進されていたことに気付いたので。

中山政市先生の想い出



先生には昭和十二年四月に入学以来三年間、我々D組の担任をして頂いた。ご都合で赴任紹介されたのは入学式後だったが、お顔はつやつやしており、壇上に立たれた健康そのもののお姿を思い出さずにはいられません。

先生のアダナは鉄兜。これは勿論先生の頭からの連想で当時の軍隊で使用していた鉄甲(てつかぶと)に似ていたところから、覚えてたの漢文の読みをそのまま使ったもので、以来「てつとう」は先生の固有名詞になった。

先生は弓道をやっておられ羽根のなくなった矢を、鞭や指示棒代わりに使用されていた。これで黒板を叩く音に居眠りの目をさまし、またこれで尻を打たれた級友は殆んど名士「迷士」になっている。正に愛の鞭であった。関西弁で「シャーンない奴だ」と言うのが口ぐせ。事実「仕様のな

(中略)
先生、どうぞ安らかに!!
(四一回卒 金沢光男)

若い頃、船のサビ落とし「カン虫」の労働をしながら苦学されたそうで、その話をよくしてくれました。腰から落ちそうになるズボンを引き上げながら講義される真剣な先生のお姿が、昨日のこのように目に浮かび、いじめ等、問題の多い今の教育界には是非再現させたい先生像であると思います。謹んでご冥福をお祈りいたします。(四一回卒 竹花慈宏)

水科信先生を偲んで



メガネの奥のやさしい眼と静かに語りかける先生のお顔がまだ思い出されます。そのお姿からは、穏やかな中にも教育者として人々を引きつけた信念が感じられました。

教壇での先生を知らない私見貴分として甘えもし、人の道も教わりました。朝夕の路

● 関西の重鎮、布施信良氏、ご逝去!
野球部の甲子園出場時に大変ご援助いただいた、大阪大学名誉教授、布施信良氏(六回卒)が、昨年十月八日逝去された。享年96歳。

● 幹事、和田晋氏逝く!
同窓会の元老格で、長い間20期代表幹事として活躍いただいた和田晋氏が、昨年六月十八日逝去された。葬儀は同窓会館二階ホールで神葬祭を以って行われた。

● 日航機墜落事故犠牲者!
昨年八月十二日の日航ジャンボ機墜落事故で、同窓生の田川英治氏(六〇回卒、TDK勤務)が犠牲となった。

上で、同窓会で、二次会で……だれとも別け隔てなく接する水科先生を見て、これから社会の中枢へ進む若者達のとるべき姿勢を知らされました。

そんな先生の訃報は、生徒のみならず、先生を知る者すべてが信じられない突然のことでした。

それから数日後、なじみだった縄のれんでは、いたたまれずに顔を出した見ず知らずの者同士が先生を偲んで盆を交わし合い、受け学んだ先生の教訓を語り合ったのでした。(六四回卒 増田幸一)

畏友 兎束竜夫君の死を悼み 追悼演奏会に思う

中島角太郎(23期)

昨年三月八日、新潟で兎束君の訃報を受け、巨星が落つるの感、痛恨の極みであった。直ちに弔電を打つ。

東京の大森頼雄君が同級生を代表して弔

問する。今年こそは同級会に出るとの便りの期待も空しくなった。実に立派な君であったの一言につきる。

九月初め、奥様より昭和

音大の奥田学長が追悼演奏会を上田で開催するので、同級生を招待する旨の連絡をいただいた。有難くお受けし、同級会で献花をさせていただくことにした。また、母校同窓会にもお話ししたところ、弔意を表し、生花を飾っていただきました。感謝いたします。

十月九日、午後六時半より二時間、上田文化会館で厳肅の内に追悼の調べが奏でられた。遺影が美しく飾られた舞台上で同僚の先生方や教子の子の楽団によって生み出された音律が、満堂一咳もない神秘の空間に流れた。この感動を兎束君の霊に捧げ、冥福を祈って止まない。

上田市議会 建設水道委員長

母袋悦男 (46回)

上田市下塩尻765
電話(自宅)23-2250
(会社)24-3456

上田市議会 厚生委員長

池上一巳 (46回)

上田市踏入2-5-47
電話(自宅)25-3360
(会社)24-0440

同期会だより

会報発行に当たり、編集委員会では、各期の幹事から同期会の開催状況等の取材を行ったところ、31の同期会から報告を受けた。これによると、卒業30周年を機に本格的に結成するケースが多く、それ以後は例会が定着し、参加者も多いようである。無尽会を持つている期も多い。また年輩者の期では、物故者の慰霊祭を兼ねるケースもあった。老若それぞれ工夫の跡が見える。大変克明な報告をいただいた期も多かったが、紙面スペースの関係で割愛させていただいた部分も多々ご容赦いただきたい。なお、報告書資料は事務局に置きます。

【20期】 現存者18名。昨年は残念ながら流会。今年は物故者の慰霊祭を兼ねて開催予定。
【21期】 57年10月別所花屋ホテルで16名参集したのが最後に老齢化で以後開催できず。
【22期】 60・10・25、若菜館で昼食会、8名参加。現存者26名(地元12名)80歳をこえ宿泊や遠出は困難となったが地元だけでも年に数回は会合を持ちたい。
【23期】 61・5・23、別所花屋ホテルで開催予定。20年以上毎年5月23日に開催。現会員50名、地元では春夏秋冬に老人センターで定例会をもつ。
【24期】 60・10・19、東天紅日比谷店で14名参加。参加者病気などのため年々減少。健康の話題等が中心となる。
【25期】 60・5・30、別所花屋ホテルで27名参加。60周年記念。真田太平記と絡み盛会。
【26期】 60・5・17、山田温泉風景館で33名。60・10・10弥彦温泉で32名参加。現存者約80名(卒業時の半数)で、年2回会報を発行。例会も春は県内、秋は県外で行っている。夫人同伴の参加が常時10組程。本年は6/2菱野温泉10/15磐梯高原横向温泉。
【28期】 61・3・28、上山田清風園で20名参加。毎年3月28日に開催している。
【29期】 60・6・10、星野温泉で28名。60・11・12、池袋割烹三木で14名参加。昭五会と称し、春は地元、秋は東京で開催している。
【31期】 60・11・24、別所ホテルだけで18名。60・12・5、在京の会、池袋八幡園で10名参加。ふるさとで、また関東で、上中二会健在なり。

【32期】 60・12・10、万花荘で30名参加。母袋忠右衛門君、依田嘉人君の叙勲祝賀会を兼ねて開催。盛会。
【33期】 60・9・8、菅平ホテルで36名参加。三三会是昭和38年発足、今回で23回目。真田氏史蹟を探访し、翌日は高原一帯を遊覧した。
【34期】 60・4・16、別所柏屋別荘、45名参加。県内同期会は毎年4月21日に柏屋別荘で行うことになった。
【35期】 59・12月、さきやで浜村謙一郎君、三石武吉三郎君の叙勲祝賀を兼ねて開催。45名参加。

【37期】 60・4・20、別所和泉屋、20名参加。信州の鎌倉を見学。東京大会も毎年開催。上田からも代表を送っている。
【38期】 60・8・15、上山きばらして40名参加。上中二年から屋代中へ転校した北川原平造君が新加入。60・12・6上山田ねすみやで地元忘年会。
【39期】 60・4・27、善光寺温泉で青々会第32回総会開催。24名参加。翌日、善光寺で恩師二方、亡友58名の大法要を営む。次回は関東支部主催。毎月2日に市内道楽で二日会を開催。常時15名位参集する。
【40期】 60・4・20、松本入山辺温泉霞山荘で27名参加。次回は61・6・7、別所花屋ホテルで開催予定。

【41期】 60・6・22、新鹿沢ホテルつちや、35名。61・1・2、市内武蔵野本店、23名。一六会の例会は毎年1月2日と6月21日。東京での会合は10月18日、青山会館で開催。
【44期5辛】 60・5・18、上山田信州観光ホテルで32名参加。卒業40周年記念として同期中沢志朗君の油彩「碧」を母校に贈る。卒業44周年記念事業として記念誌「古城の門を出て入りて」を製作中。毎月16日に市内で例会をもつ。
【46期】 61・2・21、池袋八峰園で関東地区同期会開催。28名参加。60・7・22、さきやで同期市議母袋、池上両君の委員長就任激励会開催。17名。地元総会を61年夏に予定。
【49期】 61・5・10、同窓会館で講演会、鹿教湯ホテルかめやで卒業35周年同人大会を開催予定。49期のほか、地元で松尾二十日会を77名で結成。毎奇数月20日に上田駅前若菜館で例会。常時35名参集。
【51期】 長野地区60・8・8山王共済会館、15名。上田長野合同忘年会60・12・11、上山田信州観光ホテル、25名。九年会という無尽会を毎月11日市内片桐で開催。33名参集。
【52期】 60・7・28、同窓会館、40名参加。卒業30周年記念事業として教育器材収納庫1棟を建築して母校に寄贈。
【54期】 60・6・9、さきや50名参加。60年度総会の講師柳沢修君の歓迎会と卒業30周年記念事業準備会を兼ね開催。年記念事業準備会を兼ね開催。
【55期】 卒業30周年記念事業準備会の結成を計画中。
【56期】 卒業記念事業に備え五六会を市内の有志で結成。毎月一回例会をもつ。現7名。
【61期】 地元有志10名で定例会をもつようになった。毎月16日、市内桂旅館、参加どう。
【62期】 60・11・20、丸子高原CC、22名、親睦ゴルフコンペ。60・1・3、上山田清風園で総会。30余名。卒業記念事業募金推進。毎月5日に有志で無尽会。
【63期】 準備会を計画中。
【65期】 毎年1月2日に65期2日会を開催。毎月21日に65期無尽会を開催している。連絡先24-15〇八九、西村。



東京平旦会

軽井沢パーベキューパーティー

昨年九月七日、軽井沢パーベキューパーティーは、郷は遠きにありて想うもの、とは嘘であり、幾度となく帰り来て見ることにより、楽しさは一段と素晴らしく、旧き憶い出は湧き出て来るものである。
 (幹事長 小林 春雄 42)
 東京平旦会員 (浅井敦 32)
 (平旦会とは、軽井沢ノ御代田の汽車通学組の会)

中で都塵を払うことも必要だろう。私たちはすばらしいふるさと母校を持ち、本当に幸せだとしみじみ思ふ。(会長 深井安児夫 36) からまつ、白樺、緑また緑の中での圧巻は、柳沢広(44)名リーダ音頭による肩を組んでの校歌・応援歌合唱で、まさに青春に戻り、上中、上高を卒業した者のみの感激に浸ることができました。

仏壇仏具専門店

なべや

代表取締役 桜井重治 (51回)

上田市海野町 TEL 22-0401

上田高校そばの静かなお宿

桂 旅 館

武井英子 (61回)
(渡辺)

上田市中央2丁目1-5
☎(0268)22-1940

ふるさとを離れて

女性副会長が誕生！

運営基金の募集も開始

関東同窓会会長 神野勝男(36)

創立以来初めて、女性副会長を誕生せしめた。金子節子さん(53期)がその人。近年女性の同窓生が増えたのに対応した措置である。幹事会、大会等で、やさしい女性の声で開会のことはなどいたたくと、今までとは全く違う雰囲気になるので好評である。

目下、関東地方には五千余名の同窓生がいる。その中、会費をいただいている会員は千三百余名、26パーセントである。一人の会費で約四人の経費を支えることになっている。当然会の財政は成り立たない。そこで、当分の間、財政を確立するために、会費納入者を以って会員と規定することにした。更に六十年度は、「運営基金」として一口一万円の募集を始めた。この基金から生まれる利子を運営費に当てるというものである。毎年、運営に基金利子が必要としないよう努力すれば、基金は複利となり年々増加する。五千万円位になると、年会費も必要なくなり、五千余名の全会員に会報「うえだ」及び総会の通知も送れることになる。十年、二十年先には理想の同窓会になるであろう。

各地から のたより

上小地区同窓会連合会 「上田えぼし会」誕生！！

上田の五校同窓生による親睦の大会が、昨年十二月、東条会館で、百余名の出席をもって盛大に開催された。信州弁が満堂にあふれ、和気あいあい、楽しいひと時を過ごした。

厳寒の地より上田を偲ぶ！

札幌支部長 宮坂幸男(32)

札幌雪祭りは盛会のうちに二月九日、四日間の幕を閉じた。そこで時やよしと、北大大学院生、尾崎氏の手を煩わし同窓会例会を二月二十二日に開催すべく、会員に案内状を発送した。

三十年振りの記録的寒さは

第二回大会を開催！

東部町同窓会 保科倣教(56)

昨年の八月二十三日、東部町在住者による同窓会を行った。五十八年に続き二回目である。前回が好評であり、毎年やってくれという希望もあったが、隔年開催とした。参加者約六十名、盛会であった。

参加者を年代別に見ると、四十歳を越えた人が多く、母校を想い、同窓の友と語り合おうという心境になるのは、やはりこの頃からのかなあと思ったりする。

若かりし頃を懐かしみつ

年々強まる同窓の絆！

長野支部幹事長 伊藤義久(44-5)

昨年の善光寺平は、三十七日間の延べ降雨量四五〇と、いって長梅雨、更に真夏日連続四十一日間の異常気象に見舞われましたが、小林巳根夫支部長(23期)をはじめ会員一同元気で頑張っています。

支部恒例の七夕会(総会)は、昨年七月八日午後六時から市内岡田町の山王共済会館で開催されました。創立十周年とあって、出席者は六十七

長野日赤上田会
長野赤十字病院には、医師六人、薬剤師一人、看護婦三人、事務一人、合計十一人の同窓生が勤務していますが、三月二十八日に長野市内で集まりを持ち、十名が参加しました。(河原田和夫 55記)

有名なスキヤキに舌つづみを打ちながら、飲む程に遠く母校を想い、あちこちで信州弁も飛び出し、同窓の親しみが深まり先輩後輩の交歓が続き、宴はクライマックスに達した。

校歌・寮歌などの合唱で故郷上田を偲び、二十時に散会



スエヒロに集いし面々、中央・宮坂支部長

医療法人

日新堂病院

院長 宮坂裕

副院長 宮坂厚

上田市中央三十三二二六 (43回)(41回)

医療法人 公仁会

金沢病院

理事長 金沢光男 (41回)

柏崎市駅前二二二二五

共立産婦人科医院

院長 甲田時夫 (46回)

上田市中央二一六一二二
電話 二二一八四八〇

内科・小児科 荒井医院

院長 荒井真佐次 (46回)

上田市中央西二一十一三
電話 二二一〇四七四

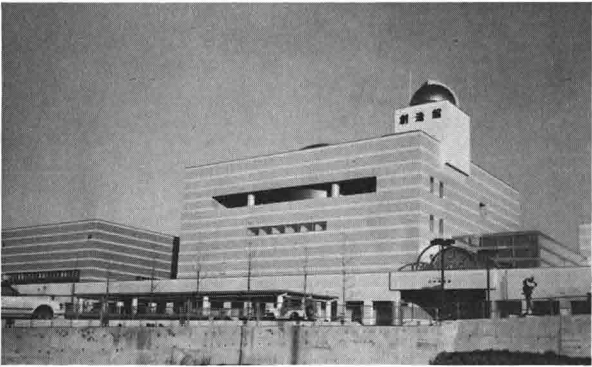
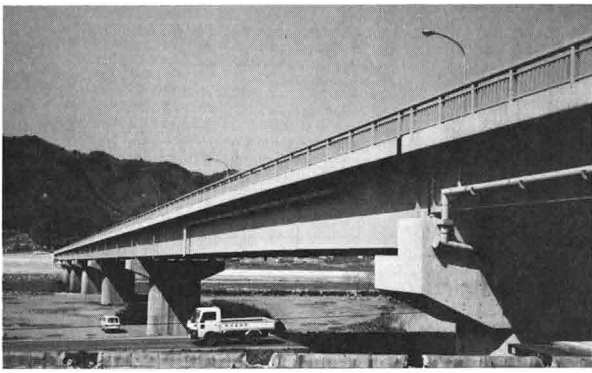
ふるさと便り

変貌をとげる千曲川左岸！

小牧橋開通、林間工業団地造成などで

昨年五月末、千曲川右岸の下堀地区と左岸の小牧地区を結ぶ小牧橋が開通し、上田市内の交通渋滞緩和に一役買っている。

また、上田原の倉升地区に上田市と小県郡の広域事業として建設を進めていた「リージョンプラザ上田創造館」が今年一月に完成、利用者で毎日にぎわっている。この創造館は四階建てで、延べ床面積七千平方メートル、文化ホール、体育館、美術館、民俗資料館、視聴覚室、プラネタリウム、天体観測室などで構成されているが、特にプラネタリウムに人気が集まっているようである。



上、小牧橋 下、上田創造館

また、上田原の倉升地区に上田市と小県郡の広域事業として建設を進めていた「リージョンプラザ上田創造館」が今年一月に完成、利用者で毎日にぎわっている。この創造館は四階建てで、延べ床面積七千平方メートル、文化ホール、体育館、美術館、民俗資料館、視聴覚室、プラネタリウム、天体観測室などで構成されているが、特にプラネタリウムに人気が集まっているようである。

「真田ブーム」上々の成果！

昨年四月より、NHK「真田太平記」が放映され、この三月に終結をみたが、この間、地元の期待通り、上田城を訪れた観光客は前年比六六・三%増加し、百四十三万人にのぼったということである。上田市観光協会を先頭に、関係各業界でブームを盛り上げようと、いろいろな催しや工夫

○青木村長 宮原栄吉氏(30) 全国初の十一選首長に！
宮原氏は、上田中学卒業後、早大政経学部を出、昭和22年35才で青木村長に初当選。以来、昨年五月に十一回目の当選を果たし、全国初の記録を作った。無当票当選が9回ある。長野県町村会長などを歴任し、現在は県治水同盟会長を務めている。

がなされていたが、上々の成果を収めたといえよう。
上田市観光課の元職員で、現在茶道を教えたり、郷土史や民俗史を研究するなど多方面にわたって活躍している益子輝之氏(57回卒)も、この一年間、非常に多忙であった一人で、依頼を受けて講演に出かけた回数も、昨年四月から百回を超えたそうである。
益子氏は、電話インタビューに、「このブームを一過性のもものに終わらせてはならない。今後の取り組みこそ肝要である」と答えてくれたが、今後の対応の良し悪しが、上田市及び周辺町村の活性化のカギを握っているといえよう。

昨年十月、上中剣友会の例会を別所温泉で開催した。今回は特に例

＝上中剣友会＝ 第五回例会を開催！ 工藤林之助(29回卒)

会に先立ち、我々の恩師伊藤長三先生の慰霊法要を常楽寺で行った。これは我々の長き念願でもあり、また先生の奥様が百歳という超年齢で参加され、感激の極みであった。奥様は実にかくしゃくとし

ておられ、御礼の挨拶もはつきり申し述べられた。我々は先生のご冥福と奥様のご健勝を心からお祈りした。懇親会は花屋ホテルに場所を移し、夕景より始まった。例により各回卒を交えての会ではあるが、同じ剣道場で汗を流した者同士であれば、半世紀を経た今日でも思い出の話は尽きない。我々の会は、回卒の拡大を念じて始まり、五回を済ませたわけであるが、同志諸君の多数の参加を得て、尚一層の盛会を期したい。

ほんものの人形専門店

社団法人日本ひな人形協会会員／全日本人形専門店チェーン商品開発委員長
節句人形製造・卸・小売

上田・佐久
松葉彌
まつばや

人形会館松葉彌／上田郵便局前☎(0268)25-3355
佐久松葉彌／中込バイパス☎佐久(0267)62-8213

代表取締役 関 陸 夫 (61回)

東芝ストアー 三栄電機株式会社

代表取締役
伊藤 一 夫 (61回)

上田市中心二一十六一十二
☎(〇二六八)三三一―一三二一

衣料センター たなか

代表取締役
田中 邦 文 (61回)

東部町田中一九八
☎(〇二六八)六二一〇二七



同窓会館全景

会館維持のため 会費納入にご協力を!

上田高校が自慢できるものの一つに同窓会館がある。六十周年記念事業として全国同窓生の寄付により建設され、八十周年に生徒合宿所が増築された。その規模、施設内容、いずれも近県下随一である。長い歴史を語る資料室もあり、勿論同窓生には無料開放されている。日常は在校生が学習、クラブ活動等に利用することが多い。会館を維持しているのは、

同窓生有志の「維持会費」と新入生の「同窓会入金」でこれにより人件費、光熱水費他の諸経費を賄っている。近年この維持会費が頭打ちで、経費の増加に見合うことができず苦慮している。昨60年度決算では、維持会費収入千算三八〇万円に対し実績は三七〇万円であった。新規維持会員の増加と、現会員の会費増額等、同窓生各位の善意

に期待するところ切である。現在、維持会員は二、六五〇名、納入額は年五百円から一万円で、二、三千円が大半であり、納入方法は、郵便振替60%、東洋信託利子30%、銀行自動振替7%、直接持参3%となっている。卒業期別に見ると、50期の87人十二万五千円が最高で、以下54期64人十一万八千円、39期41人十一万二千円、49期76人十萬三千円の順となっている。

資料室にご協力を!
在校時代の資料等、また同窓生各位が個人的に出版された書籍等、ご寄贈いただければ幸いです。

母校勤務の同窓生職員

小林金重	41	竹内修平
長谷川良一	44	中沢正巳
西沢善次	47	石村之繁
山辺 毅	50	山崎久生
竹重良信	50	小野沢洋
宮坂直次	52	山浦正孝
飯島和夫	54	佐藤 武
宮原英夫	56	橋詰牧尚
山本正彦	57	石坂賢一
大沢詰昭	58	山崎寿一
小林礼子	60	江本秀明
市原 潤	66	長井丈夫
中山隆雄	69	鈴木良一

各支部役員紹介
同窓会係の職員は、水科信教諭と山本正彦教諭に代わり宮坂直次教諭と大沢詰昭教諭

◎関東同窓会

会 長	神野 勝男
副会長	浅野 恭平
柳 田 誠	
幹事長	清水 幾男

◎長野支部

支 部 長	小林巳根夫
副支部長	倉島 宗二
志 摩 熊雄	
市 村 喜之	
伊 藤 義久	

◎札幌支部

支 部 長	宮坂 幸男
副支部長	池田 孝三
皆 瀬 明	

◎仙台支部

支 部 長	皆瀬 明
-------	------

同窓会頒布図書のご案内

(送料共)

- 「同窓会員名簿」 ¥3,000
 - 上田高等学校校史
 - 「草創編」倉沢 剛(20)著 ¥1,500
 - 「中学前編」柳沢文秋(27)著 ¥3,300
 - 「上田高校柔和会史」 ¥5,000
 - 改築前の旧校舎内外の写真集
 - 「古城の門」森 澄夫(42)作 ¥3,000
 - 「ミニ校歌碑」47回生作 1基 ¥2,500
- *
郵便振替口座 長野10378
〒386 上田市大手1-9-8 上田高校同窓会館
TEL (0268) 22-3146

定本「信州上田城」発刊!

NHK大河ドラマ「真田太平記」で全国に紹介された名城。その歴史と構造を全解明。併せて周辺の中世諸城をすべて収録。B4判大型豪華保存本 ¥18,000(送料共) 黒坂周平氏(30)を中心とする東信史学会編。郷土出版社発行・上田書店組合扱
同窓会館で注文受付

◆編集後記◆

第一回目の編集会議がもたれたのは、二月の半ば過ぎ、防寒ジャンパーを着こんで出かけたものです。まだ日があると、思っているうちに、いつの間にもやらの頃となり、その花も今や散り、葉桜になってしまいました。本気で編集に取り組んだのは、ほんの半月程ですが、忙しかったけれど、実に楽しい期間でした。最後に、原稿をお寄せ下さった皆さん、本当にありがとうございました。紙面の都合で掲載できなかった部分もあります。お許し下さい。(西)

同窓会報編集委員

水野春海	42	佐藤専太郎	44
横山二男	47	青島二郎	44
宮坂直次	52	田辺昭夫	49
龍野彰宏	58	大沢詰昭	49
西沢文登	63	増田幸一	64

熱い氷点下.....

エコーバレースキー場

長門町国設スキー場開発株式会社

〒386-06 小県郡長門町大門姫木平



取締役 **平野 しげもと** (66回)
(成基)